

JD Farag 牧師 中東アップデート 2018年4月29日公開

ニュースの見出し

今日の預言アップデートのイントロとして、準備過程での事を少しお話ししたいと思います。これは、今日私がお伝えする事を理解する為の中心になると考えていますから。通常、私は月曜日の朝に準備を始めます。日曜の夜の出来事など、時と場合にもよりますが、預言的“脈拍”を確認しながら進めます。そして、この工程を、1週間を通して行い、通常、金曜日、土曜日から、全てのまとめに入ります。慎重に、祈りながら。祈りながらというのは、私は真に主の御心を求めて祈ります。「主。今週のアップデートで、私は何を伝えるべきですか？」と。ところが、この1週間は、すっかり違っていました。その理由はこうです。非常に多くの事が、ものすごい速さで起こりました。その為、私は通常行っている事が出来ませんでした。私は、日曜の夜に始めて、週の間中それに付け足し、付け足し、付け足し、付け足し…。特記すべき展開の量は、これまででダントツでした。

中でも、南北朝鮮首脳の国境での面会。皆さん、これはご覧になりましたか？



非常に興味深かったです。本当に、興味深い。ただ、誰も語っていないのは、北朝鮮は、核に関して、イランと非常に親密な関係にある事です。皆さん、理解しておられますね？いつでも、「北朝鮮」と目にする時は、その隣に「ノイラン」を付け加えてください。彼らは、非常に長い間、非常に親密な関係にあります。しかしこれが、さらに興味深く、さらに隠された真実があるのです。

それから非常に奇妙なのは、この「Bromance/男同士の親密な関係」と形容されている、不思議な男、フランス大統領と、トランプ大統領です。良い写真ですよ…？



正直言いますと、この会談の目的は私も知っていますが、それでも未だに私は、これを理解しようとしている最中です。先週この会談が行われ、トランプにとっては忙しい1週間でした。マクロンの後、彼はドイツの首相アンゲラ・メルケルを迎えました。



この両者の訪問は、「威風堂々」ではなく、むしろこれらは、非常に深刻なものだったのではないかと、私は思っています。おもに、イランの核協議に関してです。そこで、私がそう思う理由と、この結論に達した理由について説明します。

これに関して、まだ結論は出ていない、と言われていますが、それでも、トランプは5月12日この協議から撤退する、と信じられています。これが、タイミングを考えると、非常に興味深く、これは5月14日のほんの2日前です。それについても、後程お話ししますが、5月14日は、イスラエル国家再誕から70周年記念日です。イスラエルは、1948年5月14日に国家として、再誕しました。それが今年の5月14日。それからさらに、非常に面白いタイミングで、この時、アメリカ大統領は、公式にアメリカ大使館を、テルアビブから、エルサレムに移転します。これは、ものすごく大きな事だと私は思います。他に、良い表現が見つかりませんが、次のように表現したいと思います。正しい英語ではない事は、分かっていますので、メールをしてこないでください。ともかく、これは「ものすごく大きい、という以上に、ものすごく大きい」。これは、ものすごく大きい以上に、ものすごく大きな事です。そしてすべてが、この来る日、5月14日に向かっていきます。だから、彼らは、ここアメリカに居たのです。だから、このドイツとフランス、この核協議を猛烈に支持する2人が、ここ、アメリカに居たのです。彼らは、何をしようとしていたか、ご存知ですか？彼らは、この協議を維持するように、ここから撤退しないように、トランプを説得しようとしていたのです。

今朝、新しく承認された国務長官マイク・ポンペオが、イスラエルで、イスラエル首相ベニヤミン・ネタニヤフに会いました。ところで、彼はクリスチャンですよ。以前、彼についてお話ししましたね。



この前に彼は、他にもないサウジアラビアに立ち寄っています。興味深いのは、これが、一つの事を中心とした、非常に短時間の訪問であった事です。その一つの事とは、何だか分かりますか？イランの核協議です。ポンペオの次の言葉が引用されています。

——「我々は、引き続きヨーロッパの同盟国と、この協議の修正に努める。しかし、もしこの協議がそれに達しないなら、この協議から撤退する、とアメリカ大統領は言っている。」——

繰り返しますが、まだ結論は出ていません。

さて、私が全ての緊急速報を読んでいると、通常は、1日に10件か、日によっては、もう少しでしょうか。それが今回は、1日に25から30件の緊急速報がありました。ですので、時間の関係で、全てをお伝えする事は出来ません。もし、いつもしている通りに行っていたら、きっと、火曜日までここに居る事になるだろうと思ったのです。そのまま火曜日の夜の祈祷会に突入です。それでも構わない、という人もいるんじゃないかとも思いましたが。という事で、その代わりに、多数ある、見出しだけを読むことにしました。見出しだけで、多くを物語っていますから。特に順番に意味はありませんが、その中から、いくつかのリストを矢継ぎ早に作りました。これは大げさな意味でなく、ほんの先週の6日間だけで、預言的に大きな意味を持つ記事が、150~200もあったのです。それについても、後ほどお話ししようと思います。

見出しだけです。良いですか？

「イランの核協議の運命がかかる中、フランスのマクロンが、トランプを訪問」

これは興味深いですよ。

「フランスは、2国解決策を厳しく推し進め、継続してイスラエルの破滅に努める、とムスリム界に保証。」

「フランス使節より、イスラエルへ。イラン核協議が崩壊するなら、戦争になる可能性がある。」

「核プログラムが再始動する事に対して、トランプがイランに警告。」

「イラン高官トップ：我々は、イスラエルへの反撃の時と場所を見極めている。」

「ロシアが、防空システムをシリアへ移動」

「シリア：すぐにもイスラエルを攻撃する、と警告。」
 「ロシアが警告：イスラエルが、シリア国内のS-300を攻撃するなら、その結果として、大惨事を招く。」
 「ロシアより、イスラエルへ：我々は、シリアを武装させる事を止めない。」
 「ロシアが、イスラエルに警告：ユダヤ人国家に、どれほど脅威をもたらそうとも、我々は、シリア武装を止めない。」
 「イランが、トランプに警告：核協議に留まれ。さもなくば、悲惨な結果に直面するぞ。」
 「イラン高官：シリア国内での、イスラエルによる攻撃に対する報復は、避けられない！」
 「もしイランが、テルアビブを攻撃すれば、イスラエルはテヘランを攻撃する。」

これは、見出しですよ？

マタイ 24 章で、弟子たちが「あなたの来られる時は、世の終わりには、どんな前兆があるのでしょうか？」と尋ねた時、イエスは何と言われましたか？

「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がる。戦争のことや、戦争のうわさを聞くでしょう。」

見出しを続けます。

「戦争への期待が高まるにつれ、イスラエルとイランが、互いに脅迫。」
 「イランで：イスラエルが口撃。『イランは大きな代償を支払う事になる。』とネタニヤフの発言。」
 「イラン人長官『イスラエルは、どこにも逃げられない。』」
 これは全部、見出しだけですよ？
 「ヒズボラが、ロケットの射程距離を自慢する中、イランは、イスラエル根絶を脅迫。」
 「イラン革命防衛隊、イスラエルを脅迫。『引き金に指かかかっている。ミサイル発射の準備が出来ている。』」
 「イランの海軍トップが、アメリカ海軍の軍艦を撃沈させると脅迫。」
 「解析：イランとイスラエルの対立の運命は、イラン核協議にかかっている。」
 「イラン：いつでもイスラエルを攻撃する用意が出来ている。」
 「イランのハーメネイが、ムスリム界に、US（アメリカ）に敵対して一致するよう、急ぎ立てた。」
 US（アメリカ合衆国）、US（私達）です。

「リーバマン：イランがテルアビブを攻撃すれば、イスラエルはテヘランを攻撃する。」
 「マティス（アメリカ国防長官）：リーバマンの発言を受けて、イスラエルとイランの間の衝突を警告。」
 「第三次世界大戦：トルコのエルドアンが、イスラム軍隊にあらゆる方向から、イスラエルを攻撃するよう呼びかけた。」
 「ナスルッラー（ヒズボラ議長）：抵抗軍は、イスラエルのどこにでも届くロケットを所有している。」
 「ユバル・シュタイニッツ（イスラエル国会議員）：イスラエルが、シリアから攻撃を受けるなら、アサドがその代償を支払う事になる。」
 「解析：もしシリアが破滅したら、誰が誰と味方になるか？」

これは、“もし”の話ではありませんよ。これは、シリアが破滅した“時は”、です。

そして最後のこれは、クリスチャン系メディアの見出しではありませんが、

「現在のシリアの対立に関して、終わりの時の手引き」

いくつかの見出しをご紹介しましたが、いかがでしたか？

何年も前に、預言のパズルを作ってみました。私も、皆さんの多くの方と同様、目から入る方なので、これらの預言のパズルが、どんな風にまとまり、組み合わせさって行くのか、確認しようと思ったのです。そこで私は、過去の記録を調べていました。これが非常に興味深いというか、実に皮肉なのです。前回、私がこの預言のパズルを紹介したのは、1年前の5月14日でした。



去年は、その日が日曜日だったのです。そして今回は、私の計算が正しければ、今日（4/29）から16日後が、5月14日です。どうか覚えていてください。これから、これについて説明しますが、私は、この全てを悟ったとは思っていません。そうではありませんから。皆さん、ご存知である事を願います。これは、聖書預言の相互連結と、相互交差性を基に、考えられる筋書きの一つに過ぎません。それに関して説明します。聖書預言は、預言同士が相前後して、互いに共鳴し合いながら成就していく、という意味で、繋がりあっているのです。だから私は、ダマスカスの破滅に関するイザヤ17章の預言を、エゼキエル38章の預言の導火線であると表現するのです。何故なら、エゼキエル38章では、彼らは北から攻めて来ますから。イラン、ロシア、トルコ、その他は、皆、シリアを通して北の国境、ゴランから来ます。そこで今から、これらの預言的パズルが、全て配置についている、という事を、先ほどの見出しが証明している、と主張したいと思います。今読み上げた見出しの言葉を借りると、これは「避けられない。」もう時間の問題です。“もしも”の話でなく、時間の問題、そして、どれくらい近いのかの問題です。

という事で、お付き合いいただければと思います。時間の関係で、皆さんがこれらの預言について知識がある事を前提に、進めていかなければなりません。と言っても、簡単に説明はしますので、知識がない方も大丈夫です。ただ、どうか皆さんも、ベレヤ人のように（使徒の働き17:10-11）、ご自分で聖書を調べて、これが真実かどうか確かめてください。

まず第一に、現在は、「突如の滅び」寸前である、と私は思います。それは、世が具体的に次の2つの言葉を言っている時に起こる、とパウロは言います。

“人々が、「平和だ。安全だ。」と言っているそのような時に、突如として滅びが彼らの襲いかかります。ちょうど妊婦に産みの苦しみが臨むようなもので、それを逃れる事は、決して出来ません。”
（第一テサロニケ5：3）

現在、それが起こる寸前にあります。だから、次にイザヤ17章を持ってきました。イザヤ17章、特に1節は、シリアのダマスカスの、突如の滅びを告げています。それは、取り去られて町でなくなり、廃墟となるのです。次に私は、イザヤ書17章の隣に、ゼカリヤ12章の預言を置きました。今日の世が、エルサレム分断、エルサレムの境界線を移動させる事に、非常に執着している事実からです。これが現在、まさに目の前で起こるのを私達は見ています。全てがエルサレム中心です。間違っても、トランプがアメリカ大使館をエルサレムに移転しても、何も起こらないなんて、一瞬たりとも考えてはいけませんよ。

ゼカリヤ書12章の預言に加えて、エゼキエル38章の預言も、今起こっていると思います。繰り返しますが、これが、きっかけになります。ロシア、イラン、トルコと、その同盟国が、イスラエルを攻撃しますが、それは核攻撃であると信じられています。しかし、神がご介入され、彼の民を守られます。それによって、彼が神である事を彼らが知る。それが目的です。それから、攻撃の目的は、イスラエルからイスラエルが持っているものを、略奪する為です。それが、あごにかけられる鉤である、と多くの人が信じています。神が、彼らのあごに鉤をかける、と言われていました。その鉤とは何か？それは、天然ガスと石油ですよ。皆さん、ご存知かどうか分かりませんが、ロシアは今、経済的に大打撃を受けているのです。ロシアでは、石油価格があまりにも高い為です。バレル当たりの値段が、あまりにも高く、損失が出ているのです。その目的の為に、ロシアが、イランと、トルコ、他の同盟国と共に、イスラエルを攻撃すると考えられています。

それから、エゼキエル38章の隣に、ダニエル9:27を置きました。繰り返しますが、これは、考えられる筋書きです。ダニエル9:27とは何か？ダニエル9:27は、非常に重要な預言で、反キリストが、強制的に、7年間の和平合意を成立させます。そしてその中間、3年半の時点で、彼は、自ら新しく再建された神殿に入り、そして、自分が神であると宣言します。私は、神殿再建も合意の中に含まれるのだと思っています。この時に、ユダヤ人達は気づくのです。「これは、我々のキリストではない。」「これは、贋キリスト、反キリスト、キリストに成りすます者だ！」彼は、荒らす忌むべき事を行いますから。そしてそれが、神の民、ユダヤ人達が、救いに至る真実、真のメシアについて知るきっかけとなります。そして、その後の3年半の間、神ご自身が、彼らを守られます。私は、これは、現代のヨルダンにある、古代の岩の都市ペトラだと思っています。7年の大患難後半の3年半。それが、ダニエル9:27の預言です。

そして最後に、黙示録13章を入れました。理由は、ここで反キリストが、この世界統一政府と、世界統一経済、それから世界統一宗教を始めるからです。皆で共存する。それから、経済は、あるしるしが無ければ、誰も売ることでも買うことも出来ません。ところで、現在、そのための技術は存在しています。さらに言えば、今のペースでこの技術が進めば、これから5年後には、聖書に書かれている技術を超えてしまいます。何が言いたいかわかりますね？違う言い方をすれば、5年後の技術では恐らく、火星に人を送り込めるようになっているのです。だとしたら、皆、火星に行くでしょう？もうすでに誰かが行っていると思いたいますが。ともかく、その技術では、聖書が終わりの時に描写している技術を超えてしまうのです。その観点から、ここにを入れました。

そこで、私がいつも聞いている質問です。「この筋書きの、どこに携挙が入るのか？」

私はこの質問が大好きです。なぜかと言えば、その答えは、「私達には分からない。」

はい、お祈りして終わらしましょう。…そうではなく、良いですか？

私達には分からないのには、理由があるのです。**携挙は、いつでも起こり得るからです。**第一テサロニケ5:3が、起こる必要はありません。イザヤ17章も、起こる必要はありません。では、これはどうですか？最近、これについて話しましたね。何度も言いますが、これは妥当な筋書きです。ただ、私には、これが最も妥当な筋書きである、という確信が、どんどん強くなっていますが。教会の携挙は、「彼ら」に臨む突如の滅びと、同時に起こる。彼らは、逃れられません。しかし、生き残っている私達は、逃れます。大脱出、祝福された望み、イエス・キリストの教会の携挙、それは…、また、あの言葉を使いますよ？皆さん嫌だとは言わせませんよ。「避けられない。」切迫しています。それは、いつでも起こり得ます。

このために、私はイエス・キリストの福音を、預言アップデートの終わりに、毎回毎回伝えているのです。

まず、福音とは何かをお伝えしたいと思います。というのも、今日、私がお話しした事のすべては、携挙がいつでも起こり得る、という事や、生きて残っている私達が、引き上げられ、空中で主とお会いするとか、イエスがルカの福音書21:28で言われた、「これらの事が起こり始めたなら、からだをまっすぐにし、頭を上げなさい。贖いが近づいたのです。」とか、これらは、神の御霊によって、新しく生まれた者にだけ適応されるのです。もし、あなたが、主の御名を呼び求めた事がないなら、これは、あなたには当てはまりません。あなたが主の御名を呼び求めて、救われていなければ、これらはあなたには当てはまらない事を、もし私が、この説教代の後ろに立って伝えなければ、私は完全に公正とは言えないのです。良いところ不誠実、最悪は嘘つきです。それは、私には出来ません。私は愛を込めて、真実を伝えなければならないのです。そして真実とは、これ。**あなたは、新しく生まれられない限り、天の御国には入れない。あなたが、どれだけ良い人であったとしても、関係ありません。その良さでは、十分ではないのです。**天国には、たくさんの悪人がいます。私はその先頭ですよ。それから、地獄には、たくさんの良い人が居ます。なぜかと言えば、それによって、天国に入るかどうかを計るのではないからです。あなたや私が、天国に入れる唯一の道は、「イエス・キリスト個人について、あなたは何をしましたか？」これに応えるだけです。天の御国に入る基準は、これだけです。そして、それが福音であり、それを、これからお伝えします。

第一コリント15:1-4で、使徒パウロが、福音とは何かを説明しています。これは、最も大切な事、最も重要な事だ、と言っています。

“キリストは、聖書の示す通りに、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また、聖書の示す通りに、3日目によみがえられたこと。”（第一コリント 15:3-4）

それが良い知らせです。なぜ、それが良い知らせなのか？それは、そうする事によって、彼は、あなたと、私の死刑宣告を支払ってくださったのです。死刑宣告とは何か？それは、私たちは皆、死刑宣告を受けて生まれたのです。何でそうなるか？それは、私たちは皆、罪人として生まれたからです。それについても、これからお見せしますが、「罪から来る報酬は死」（ローマ 6:23）死刑です。そして、イエスが来られ、言われたのです。
「あなたのその死刑宣告を、わたしが受けて、あなたの代わりに、わたしが十字架で死のう。」
「だから、誰でもわたしを信じる者、わたしを信頼する者、彼らの為のわたしの贖いを受け入れる者は、救われる。」
 要するに、それが福音です。とてもシンプル、子どもにでも分かるほど簡単です。

次に、福音に応える方法です。何度も言いますが、とても簡単です。ABCほど簡単です。



A=Admit/認める、Acknowledge/認識する

自分は罪人であり、救い主が必要である事を認める。ローマ 3:10 にはこうあります。

“「義人はいない。ひとりもない。」（ローマ 3:10）

「十分に真実である者は、誰もいない。」と言っても良いでしょう。「十分に良い人は、誰もいない。」ローマ 3:23 にはこうあります。

“**すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることが出来ず、**”（ローマ 3:23）

これがとても面白いので、少し補足的に言いたいと思います。「罪」という言葉は、弓道の「的を外す」という意味が含まれています。的からずれる、これが罪の意味です。私たちは皆、的を外した。だから、神からの栄誉を受けられないのです。ローマ書 6:23 で、死刑宣告が発せられています。

“**罪から来る報酬は死です。**”

これは悪い知らせと言えるでしょう。私たちは、罪の為に死刑宣告を受けたのです。しかし、次に良い知らせです。良い知らせは、

“**しかし、神の下さる賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。**”（ローマ 6:23）

B=Believe/信じる

イエス・キリストが主であると、心で信じる。これは、ローマ 10:9-10 で、こうあります。

“**あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるから**です。”（ローマ 10:9-10）

「救われる」のです。「かも」でも「あり得る」でも「きっと」でもなく、「救われる」。

C=Call/呼び求める、Confess/告白する

これで全部がまとまります。主の御名を呼び求める。ローマ書にはこうもあります。これもまた、ローマ書 10:9-10 が告げている事で、

“なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で、神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。” (ローマ 10: 9-10)

そして最後が、ローマ書 10:13 です。

“「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる」” (ローマ 10:13)

今までに、主の御名を一度も呼び求めた事がない人は、ここに例外はありません。もし、今日ここに座っておられる方、もしくは、これを何らかの形で、インターネットで観ている方で、今までに、一度も主の御名を呼び求めた事のない人は、お願いですから、今日、主の御名を呼び求めて、救われてください。先延ばしにしないでください。これは、あなたの人生の中でくださ、最も重要な決断です。永遠がかかっているのです。

祈りましょう。

主よ、感謝します。預言の確かな御言葉に感謝します。あなたの御言葉の中で、これから起こる事を、それが起こる前に伝えて下さり、ありがとうございます。それが起こるのを見た時、未信者達は信じ、信者達は、頭を上にあげます。主よ。私たちのここでの時が短く、終わりが近いのが分かります。今日、世界で全ての事が起こっているのを見ると、あなたが、そうなると言われた事、そのままです。ですから主よ。今日、ここに居る人、もしくはこれを観ている人が、あなたが、彼らをこの動画に導かれたのです。偶然ではありません。またこの教会に、今日居る人たちもそうです。主よ。どうか、今日が彼らの救いの日となりますように。それから最後に、主よ。マラナタ！主イエス、早く来てください。あなたの来られるのを、待ち望んでいます。イエスの御名によって、アーメン。

このメッセージはカルバリーチャペル カネオへの JD ファラグ牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、Calvary Chapel Kaneohe (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、目の治療をされました。どうか、りよくさんの病後の弱さを覚えて、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」

ヘブル 4:7

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリーチャペルカネオへ <http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe

47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by まい